

実施内容(文部科学省・農林水産省)

- 文部科学省及び農林水産省は、住民の健康への影響及び環境への影響を将来にわたり継続的に確認するため、これまでの陸上モニタリングや航空機モニタリング等の緊急時モニタリングの結果を参考に、**福島県及びその周辺近隣の各県について、放射性物質の蓄積状況の顕著な箇所を中心に、空間線量の測定や、陸域土壌(土壌表面及び土中)及び河川・地下水の採取・分析を実施。**
- 本結果をもとに、今後の被ばく線量評価や農耕地の作付等に活用される、空間線量率や放射性物質の蓄積状況を詳細に示した放射線量等分布マップ(「**線量測定マップ**」、「**土壌濃度マップ**」、「**農地土壌放射能濃度分布図**」)を作成。
- なお、本マップの作成にあたっては、全国の有識者・関係者(日本原子力研究開発機構、放射線医学総合研究所、農業環境技術研究所、日本学術会議、福島県等)の知見を集約した「**放射線量等分布マップの作成等に関する検討会**」を文部科学省に設置し、**同検討会の意見を踏まえ、関係省庁との連携のもと、マップを作成。**

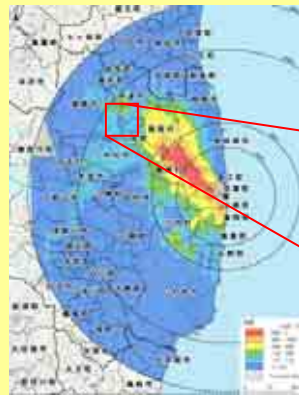
マップの作成

放射線量等分布マップの作成(深さ5cm土壌)

【土壌採取/大阪大学、(独)JAEA、東京大学、(財)日本分析センター】
【分析/日本分析センター、東京大学】

農地土壌放射能濃度分布図作成(農地土壌、攪拌有り)

【(独)農業環境技術試験場、各県の農業技術試験場】



①放射線量等分布マップにおける土壌狭域内分布の確認

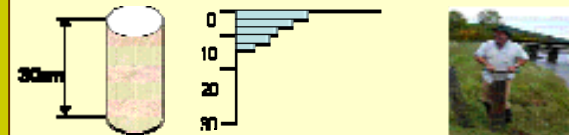


【(独)JAEA、北海道大学、金沢大学】

⑤ 放射線量等データベースの作成 【(独)JAEA】

マップ関連調査

②土壌中における深さ方向の放射性物質分布の確認(網羅的調査)



【硬土壌:大阪大学、軟土壌:(独)JAEA】

③河川、地下水、その他核種分析調査(網羅的調査)【(財)日本分析センター】

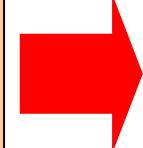
④土壌に蓄積した放射性物質の移行調査(大規模循環モデル調査)



【筑波大学、東京工業大学、京都大学、広島大学】

放射線量等分布マップの作成等に関する検討会

マップ作成手法の検証



マップ関連調査の進捗管理

【文部科学省】